

夜の裏に千鳥の喧くを聞く歌二首

四一四六番

夜ぐたちに 寝覚めて居れば 川瀬尋め 心も
しのに 鳴く千鳥かも

四一四七番

夜くたちて 鳴く川千鳥 うべしこそ 昔の人
も しのひ来にけれ

暁に鳴く雉を聞く歌二首

四一四八番

杉の野に さ躍る雉 いちしろく 音にしも鳴
かむ 隠り妻かも

四一四九番

あしひきの 八つ峰の雉 鳴きとよむ 朝明の
霞 見れば悲しも